

---

## 「動脈瘤性くも膜下出血患者におけるクラゾセンタンナトリウム投与による 肺合併症の要因」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2022年6月1日から2023年10月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、脳動脈瘤によるくも膜下出血と診断され、手術を受けられた方の中で、クラゾセンタンナトリウムという脳動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮およびこれに伴う脳梗塞および脳虚血症状の発症抑制薬を投与された患者さんが対象です。

#### 2. 研究の目的

クラゾセンタンナトリウムを投与された患者さんで、肺合併症を起こしやすい原因を明らかにすることが目的です。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2024年9月30日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2023年12月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である齋藤 新が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

脳動脈瘤によるくも膜下出血と診断された患者さんの検査を実施した検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター	看護部	齋藤	新（研究責任者）
埼玉医科大学国際医療センター	看護部	河野	百香
埼玉医科大学国際医療センター	看護部	岩松	菜々美
埼玉医科大学国際医療センター	看護部	大森	麻衣子
埼玉医科大学国際医療センター	看護部	藤又	明弘
埼玉医科大学国際医療センター	看護部	田口	裕彦
埼玉医科大学国際医療センター	脳卒中外科	鈴木	海馬
埼玉医科大学国際医療センター	脳卒中外科	栗田	浩樹

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 佐伯 俊昭

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・埼玉医科大学国際医療センターが保有している患者さんご自身を識別できる情報をご覧になりたい場合は、所定の方法により開示することが可能です。手数料をいただきますが、ご希望の場合は、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター 看護部 齋藤 新

〒350-1298

埼玉県日高市山根 1397-1

電話 042-984-4111（代）（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：動脈瘤性くも膜下出血患者におけるクラゾセタンナトリウム投与による肺合併症の要因

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 看護部 齋藤 新